
木津川市過疎地域持続的発展市町村計画（案）

概要版

令和8年度～令和12年度

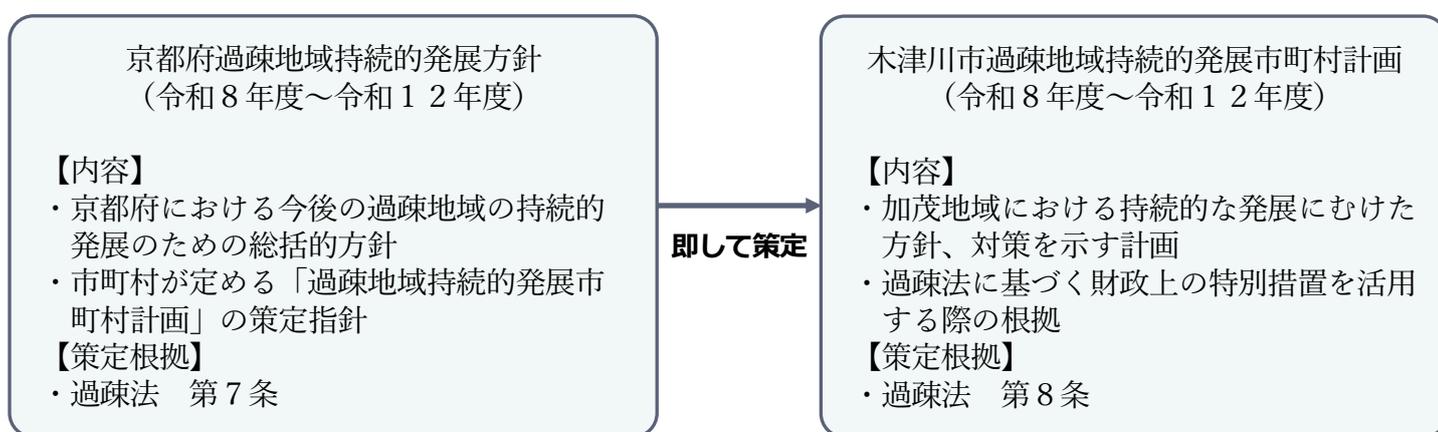
京都府木津川市

1. 計画策定の背景

本市は、令和4年4月1日付けで総務省より、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（以下「過疎法」という。）」により、加茂地域が過疎の指定を受けました。（一部過疎）

これを受け、本市では「木津川市過疎地域持続的発展市町村計画（令和4年度～令和7年度）」を令和4年12月に策定しました。

令和7年度をもって計画期間が終了することから、引き続き過疎地域の持続的発展に向けた取組を計画的かつ総合的に推進するため、計画期間を令和8年度から令和12年度とする過疎計画を策定するにあたり、広く市民等の皆様からご意見を伺うため、パブリックコメントを実施します。



2. 計画期間

この計画は、令和8年4月1日から令和13年3月31日までとする。

3. 計画の構成

市町村が定める「過疎地域持続的発展市町村計画」の策定については、総務省より留意点や作成例が示されています。

本計画においてもそれらに基づき、市総合計画及び公共施設等総合管理計画と整合を図りながら策定するものです。

- 1 基本的な事項（概況、達成状況の評価、期間等）……………P1
- 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成……………P11
- 3 産業の振興……………P13
- 4 地域における情報化……………P19

5 交通施設の整備、交通手段の確保	P20
6 生活環境の整備	P24
7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	P31
8 医療の確保	P35
9 教育の振興	P36
10 集落の整備	P38
11 地域文化の振興等	P40
12 再生可能エネルギーの利用の推進	P41
13 成果指標一覧	P43

4. 加茂地域の現状と主な課題

加茂地域は、京都府最南端に位置し、豊かな自然環境と数多くの歴史文化遺産を有する地域です。恭仁宮跡をはじめとする史跡や社寺、里山景観など、他地域にはない魅力を持っています。

一方で、人口は平成2年をピークに減少に転じ、近年は高齢化率が4割を超えるなど、急速な人口構造の変化が進んでいます。若年層の転出や出生数の減少により、地域の担い手不足が深刻化しています。

このような人口動向は、次のような課題を生じさせています。

- 地域コミュニティの維持が困難になること
- 農林業や商工業における担い手不足
- 生活利便施設や公共交通の維持への影響
- 空家の増加や地域環境の悪化

これらの課題に対応し、地域の魅力を次世代につなげていくことが求められています。

5. 項目毎の方針・現況と問題点・その対策

2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成

【方針】

歴史文化遺産や里地里山など加茂地域固有の資源を活用し、子どもたちのふるさと意識の醸成と世代間交流を軸とした子育て・子育てのまちづくりを進めるとともに、移住・定住の促進及び交流人口・関係人口の拡大を図ります。

【現況と問題点】

若年層の転出超過や高齢化の進行により地域の担い手不足が課題となっています。瓶原地区は移住促進特別区域に指定されていますが、移住者は少数にとどまっており、移住者の増加のみでは地域課題の解決には限界があります。

【対策の概要】

歴史文化遺産を活用した学習プログラムや世代間交流の促進、「当尾の郷会館 CREATION PROJECT」など新たな観光魅力の創出に取り組みます。また、地域おこし協力隊の活用やふるさと納税制度を通じた関係人口の創出、瓶原地区への移住促進の強化により、持続的な地域活力の創出を図ります。

3 産業の振興

【方針】

茶業をはじめとする地域農業の競争力強化や森林の多面的機能の維持、京織ふすま紙などの伝統産業の振興を図るとともに、歴史文化資源を生かした観光振興や企業誘致の推進により、持続可能な産業構造の確立を目指します。

【現況と問題点】

農業や商工業において担い手の高齢化や後継者不足が進み、農地の遊休化や空き店舗の増加が見られます。観光資源は豊富であるものの商業への波及効果は限定的であり、地域内での安定した雇用の場が十分に確保されていません。

【対策の概要】

ほ場整備や農地集積の推進、茶業のブランド化や鳥獣被害対策の強化により農業の持続性を高めます。また、京織ふすま紙など伝統産業のブランディング支援や企業誘致の推進、観光資源の磨き上げと回遊性向上により、域内経済の活性化と雇用の創出を図ります。

4 地域における情報化

【方針】

デジタル技術を活用した市民サービスの向上、地域産業の強化、効率的な行政運営を推進します。

【現況と問題点】

少子高齢化や財政制約が進む中、持続可能な行政サービスの提供と多様化する住民ニーズへの対応が求められています。また、高齢者を中心にデジタル活用への不安も見られます。

【対策の概要】

行政手続のオンライン化や情報発信の強化など市民サービスのスマート化を進めるとともに、デジタルマーケティングの活用による地域産業の活性化を図ります。あわせて、行政事務の効率化や職員の情報リテラシー向上を進めます。

5 交通施設の整備、交通手段の確保

【方針】

道路・橋梁の計画的な整備と維持管理を進めるとともに、鉄道・バス等の公共交通の確保により、安全で持続可能な交通体系を構築します。

【現況と問題点】

狹隘道路や老朽化した橋梁が多く、防災面での課題があるほか、公共交通の利用者減少や運行事業者の人員不足により、交通手段の維持が課題となっています。

【対策の概要】

狭隘道路の改良やバリアフリー化を進めるとともに、橋梁の予防保全型維持管理による長寿命化を図ります。また、鉄道・バス事業者や沿線自治体と連携し、公共交通の利用促進と持続的な運行確保に取り組みます。

6 生活環境の整備

【方針】

水道・下水道・廃棄物処理施設等の生活基盤の計画的な更新と長寿命化を進めるとともに、防災体制や住宅施策の充実により、安全で持続可能な生活環境を確保します。

【現況と問題点】

水道・下水道施設や市営住宅などの老朽化が進むなか、更新費用の増大が見込まれています。また、消防団員の減少や空家の増加など、地域防災力や生活環境の維持に課題があります。

【対策の概要】

予防保全型の施設管理による長寿命化を図るとともに、計画的な更新や耐震化を進めます。また、空家対策や市営住宅の再編整備、消防体制の強化などに取り組み、安心して暮らせる環境づくりを推進します。

7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

【方針】

少子高齢化が進行する地域特性を踏まえ、子育て支援の充実と高齢者・障がい者福祉の強化により、世代を超えて支え合う地域づくりを進めます。

【現況と問題点】

加茂地域では高齢化率が市内で最も高く、子ども人口は減少傾向にあります。また、障がいのある方やその家族の高齢化も進んでおり、移動手段や見守り体制の確保など、地域に応じた支援の充実が課題となっています。

【対策の概要】

教育・保育の提供体制を維持しながら子育て支援を充実させるとともに、相談支援体制の強化や地域包括ケアの推進、移動支援などに取り組み、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを進めます。

8 医療の確保

【方針】

高齢化の進行を踏まえ、地域で安心して受診できる医療体制と救急医療体制の確保を図ります。

【現況と問題点】

加茂地域では医療機関数が限られており、医師や看護師等の医療人材の確保が課題となっています。また、高齢化の進展に伴い、通院や救急医療への対応など、地域医療体制の充実が求められています。

【対策の概要】

中核医療機関や医師会等との連携を強化するとともに、夜間・休日診療や広域救急医療体制の充実を図り

ます。あわせて、がん検診等の受診環境の維持や健康づくりの推進に取り組みます。

9 教育の振興

【方針】

小規模校化が進む中でも、質の高い学びを確保し、地域と連携した持続可能な教育環境の構築を図ります。

【現況と問題点】

加茂地域では児童生徒数の減少により小規模校化が進んでおり、多様な学びの機会の確保や学校の適正規模化が課題となっています。また、生涯学習施設の利用者減少や施設の老朽化への対応も求められています。

【対策の概要】

小中一貫教育の推進や学校の適正規模・適正配置の検討を進めるとともに、社会教育施設の機能充実と計画的な改修を行い、地域に根ざした学びの拠点づくりを進めます。

10 集落の整備

【方針】

人口減少と高齢化が進む中、安心して住み続けられる持続可能な集落環境の形成を図ります。

【現況と問題点】

山間部の小規模集落や住宅団地において人口減少と高齢化が進行し、地域コミュニティの維持や活動の担い手不足が課題となっています。また、集会所等の老朽化や防災面での環境整備も求められています。

【対策の概要】

生活道路や防災対策の整備を進めるとともに、集会所の改修等への支援やコミュニティ活動への補助制度の活用を促進し、地域主体の取組を支援します。

11 地域文化の振興等

【方針】

豊富な歴史文化資源を適切に保存・継承するとともに、地域の活力向上につなげる活用を進めます。

【現況と問題点】

文化財が多数所在する一方、少子高齢化の進行により保存管理や継承の担い手不足が課題となっています。

【対策の概要】

文化財の調査・保護・保存修理への支援を行うとともに、周辺環境と一体的な活用や情報発信を強化し、交流人口・関係人口の拡大につなげます。

12 再生可能エネルギーの利用の推進

【方針】

ゼロカーボンシティの実現に向け、再生可能エネルギーの導入と温室効果ガス削減を進めます。

【現況と問題点】

高齢化・人口減少に伴うエネルギー需要の変化により、再生可能エネルギー導入の促進が課題となっています。

【対策の概要】

温室効果ガス排出量の把握や導入可能性調査を行い、公共施設への再生可能エネルギー設備導入を計画的に進めます。

1 3 成果指標一覧

	令和 6 年度実績	令和 10 年度※	令和 12 年度
加茂地域の人口（人） ※住民基本台帳	12,250 令和 8 年 1 月末時点	減少抑制	減少抑制
加茂地域への移住関連補助金申請件数（累計）（件）	5	10	↑
加茂地域における新規就農者認定人数（人）	2	2	↑
加茂地域における農産物直売所数（箇所）	2	2	→
租税特別措置法適用のための確認申請件数（累計）（件）	2	3	↑
加茂地域における観光入込客数（人）	361,762	500,000	500,000
加茂地域における観光消費額（千円）	1,155,814	1,500,000	1,500,000
加茂地域における路線バス利用者数（人）	565,028	500,000	500,000
かもバス利用者数（人）	26,657	26,000	26,000
加茂子育て支援センター利用者数（延べ人数）（人）	3,245	2,750	2,700
当尾の郷会館年間利用者数（人）	12,380	13,000	13,000
当尾クリエイションプロジェクト参加者数（人）	5	5	5
加茂地域における自主防災組織活動回数（回）	74	75	80

加茂地域における空家等件数（件）	169 令和8年1月末時点	165	160
加茂地域における介護予防サポーター数（人）	57	65	69

※木津川市デジタル田園都市構想総合戦略の計画終了年度